

評論文の発展的テーマ

～教科書の内容とつながる読書の世界～

2年 現代文B

「である」と「する」と
資料の活用

ねらい

○教科書の教材と図書館資料を関連させるため、教材と読んだ本とのつながりを説明する論理的な文章を作成できる。

○ふだんの国語の授業と図書館資料を関連させて、生徒それぞれの読書につなげていくことができる。

学 習 展 開

- ① 現代文Bの授業で扱う評論教材、丸山真男著『「である」と「する」と』に関連するテーマ設定を各自が行い、調査・発表することを伝える。
- ② 図書館で書架の資料や県立図書館から借りた関連資料、さらに iPad を利用し、各自が自分の興味を持ったテーマで読書（調査）を行う。
- ③ 生徒たちが、各自のテーマと教科書本文との関連性を説明する文章、参考文献などテキスト化しネットワークに保存する。
- ④ ネットワークで共有された資料を用いて、グループで発表を行う。



（図書館で書籍や iPad を用いて、「テーマ設定」や資料検索をする生徒たち）

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭は、現代文の教科書をあらかじめ研究し、授業参観し、生徒が設定するテーマを予測して、利用できる図書館資料の整理と、それに加えて県立図書館から資料を借りておく。
- 学校司書と司書教諭は相談し、生徒の設定テーマの中間報告から、生徒が必要とする資料を再度収集する。

★指導のポイント

- ◆ テーマ設定が難しいので、キーワード等を使って、資料を探すように指示するとよい。
- ◆ 生徒が興味を示した本や話題があればそれに関連した資料を紹介する。
- ◆ 作成したテキストは学校のネットワーク上に保存し、生徒・教師ともに閲覧ができるようにした。

資料

ロック、ルソー、ミルなど「民主主義」や「自由」と関連する古典的著作。
「18歳選挙権」「憲法改正問題」など時事的な話題に関する著作。
丸山真男、福沢諭吉など近現代の政治学、政治思想史に関連した著作。